

# 朝日放送グループホールディングス株式会社 2020年3月期 決算参考資料

2020年5月22日

ABC

証券コード:9405

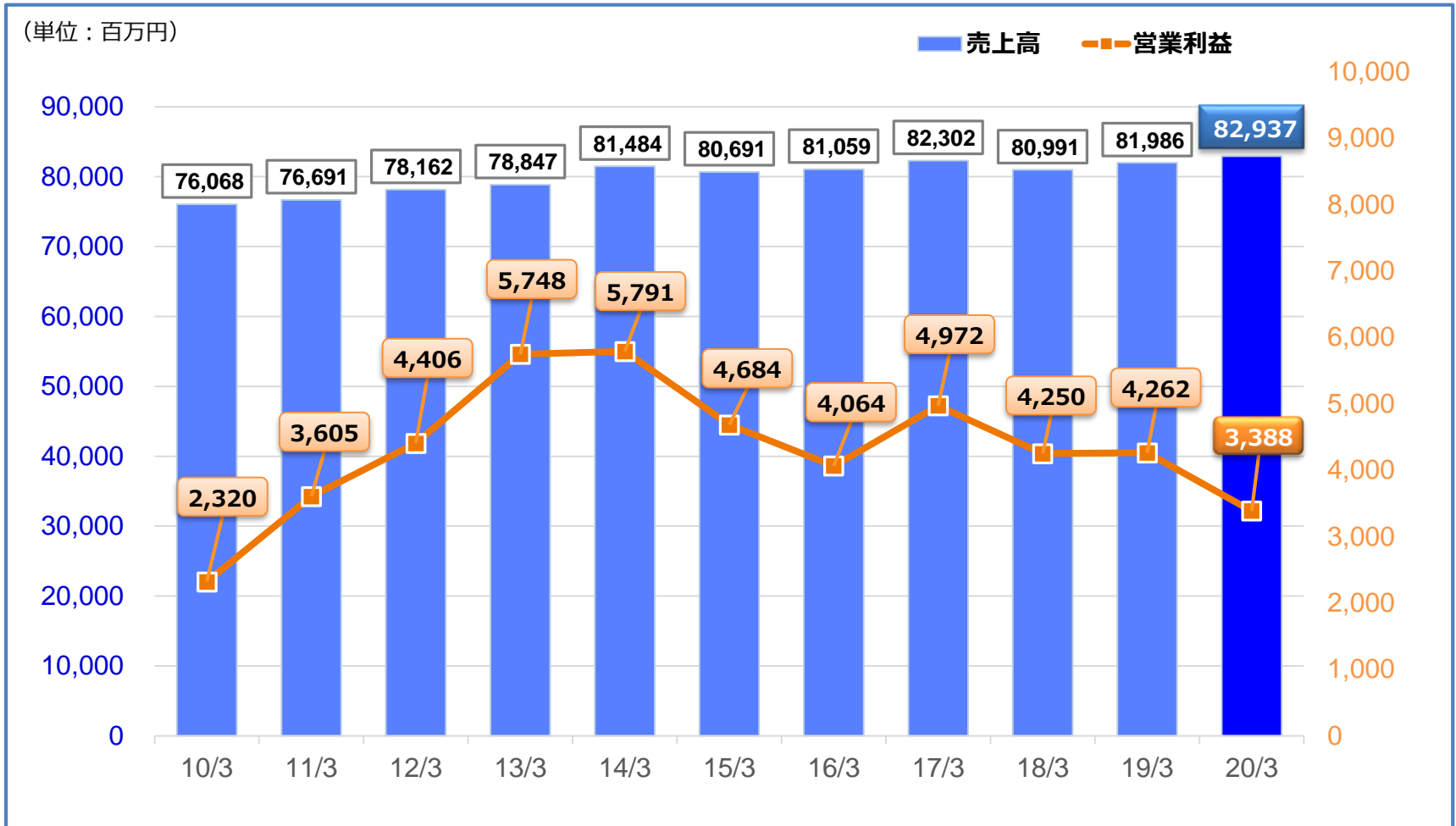
# 連結業績

(単位：百万円)

		19/3	20/3	前期比	増減率
売上高		81,986	82,937	950	1.2%
営業費用		77,723	79,548	1,825	2.3%
内訳	売上原価	53,463	54,959	1,496	2.8%
	販管費	24,260	24,588	328	1.4%
営業利益		4,262	3,388	△874	△20.5%
経常利益		4,591	3,633	△958	△20.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益		3,742	2,278	△1,464*	△39.1%*

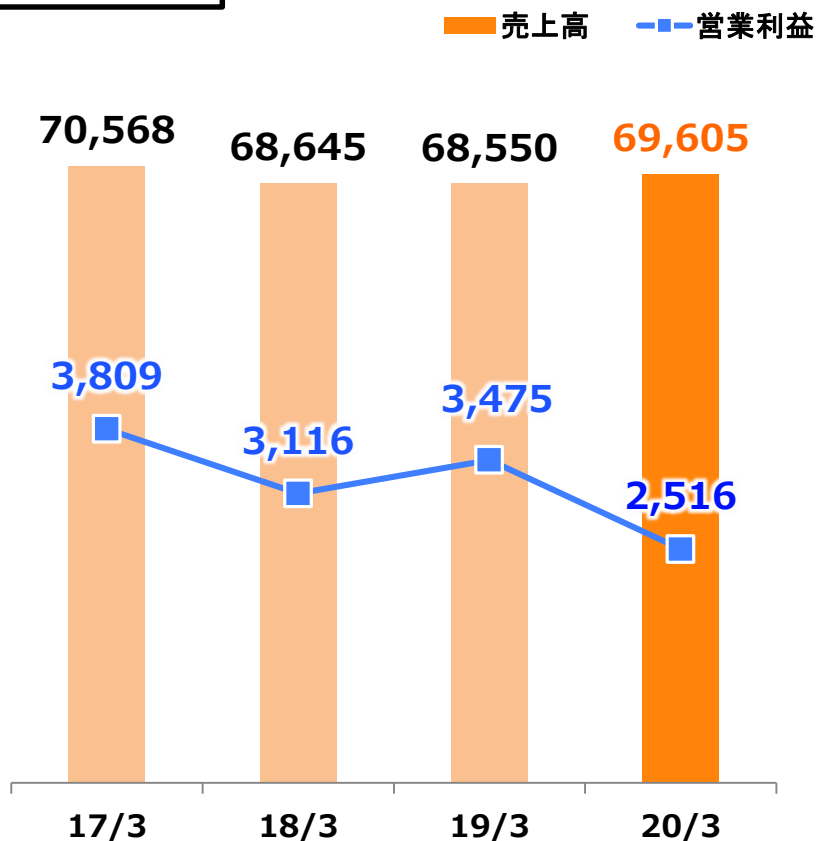
\* 大幅マイナスは、2019年3月期はHD化に伴う税効果会計上の処理があったため

# 11年間の売上高・営業利益（連結）



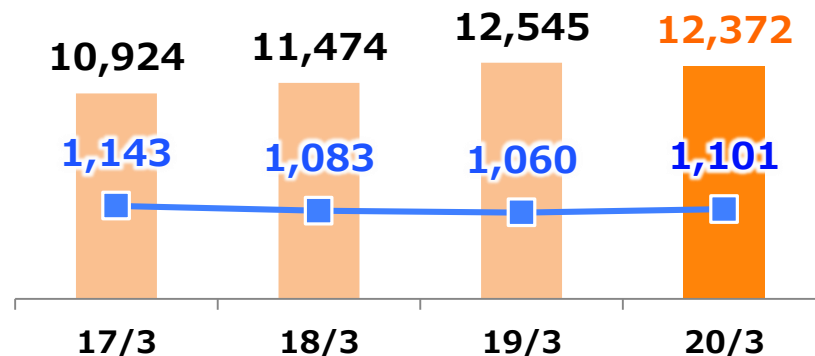
# セグメント別 業績 (通期)

## 放送事業

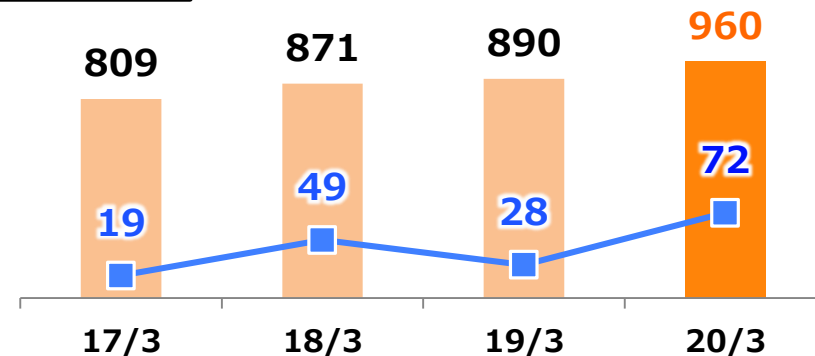


## ハウジング事業

(単位：百万円)



## ゴルフ事業



(単位：百万円)

その他調整額	19/3	20/3
営業利益	△301	△301

# 朝日放送テレビ 業績

(単位：百万円)

		19/3	20/3	前期比	増減率
売上高		58,947	57,605	△1,342	△2.3%
営業費用		57,173	56,203	△969	△1.7%
内訳	売上原価	35,730	35,539	△190	△0.5%
	販管費	21,443	20,664	△778	△3.6%
営業利益		1,774	1,401	△372	△21.0%
経常利益		1,807	1,452	△354	△19.6%
当期純利益		1,933	834	△1,099	△56.9%

		19/3	20/3	前期比	増減率
番組費		17,619	17,777	157	0.9%

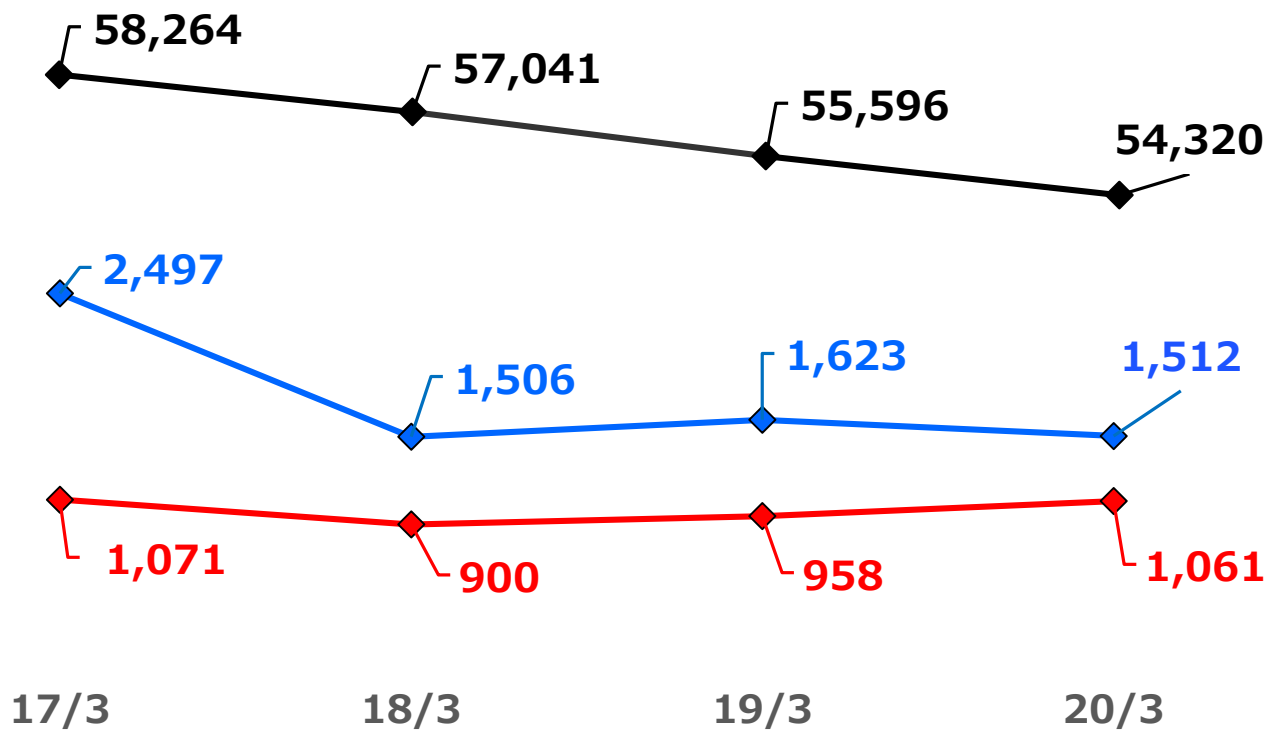
# 朝日放送テレビ（旧朝日放送）収入の推移

(単位：百万円)

テレビ事業

催物

コンテンツ  
関連

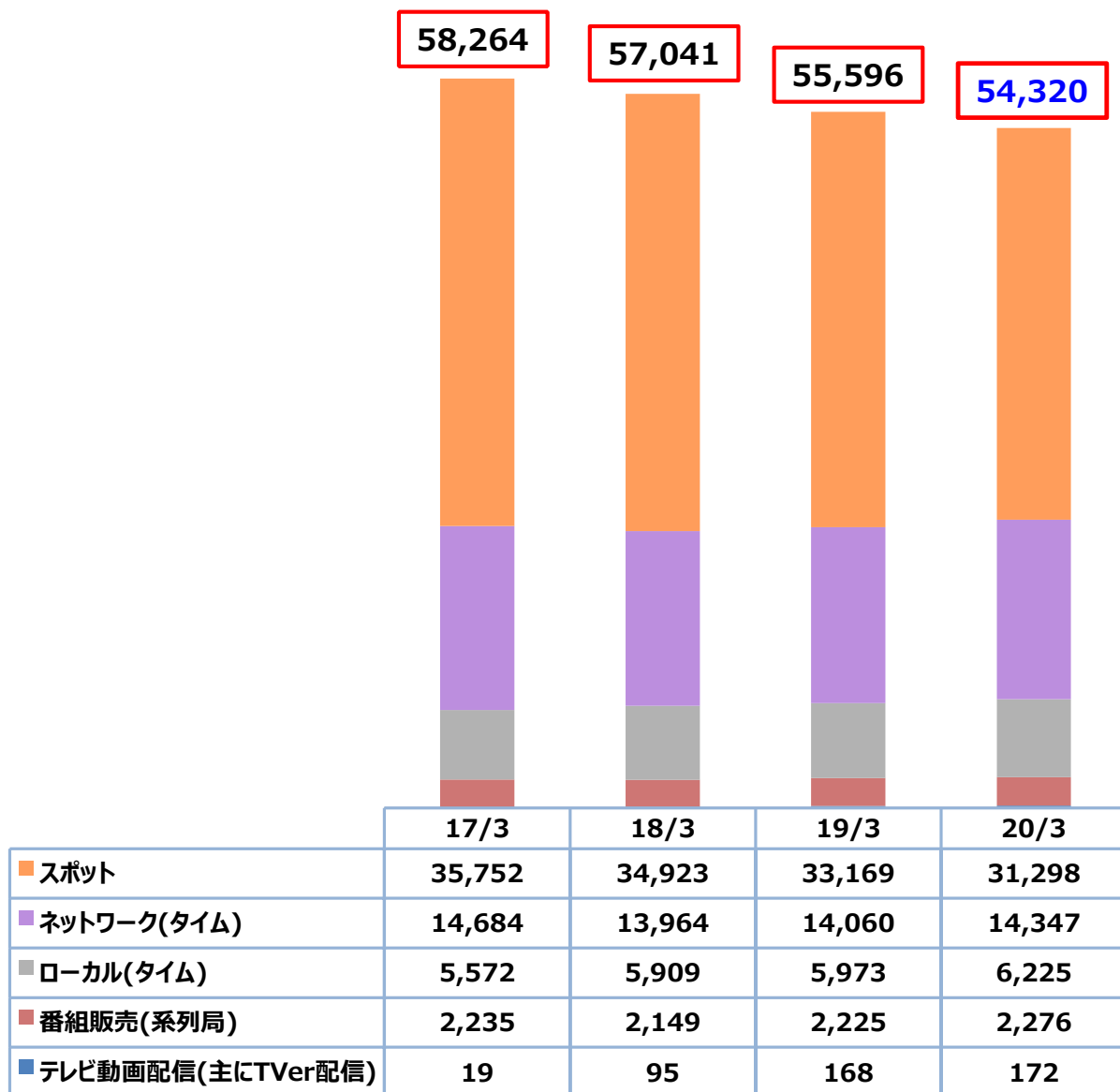


\* 18年3月期以前（旧朝日放送）の「催物収入」には、ラジオイベントも含む

(単位：百万円)

	17/3	18/3	19/3	20/3
その他	454	458	769	711

# テレビ事業 収入の内訳



- **スポット**  
・前年同期比 5.6% ↓
- **ネットワーク (タイム)**  
・前年同期比 2.0% ↑
- **ローカル (タイム)**  
・前年同期比 4.2% ↑
- **番組販売 (系列局向け)**  
・前年同期比 2.3% ↑
- **テレビ動画配信 (主にTVer配信)**  
・前年同期比 2.1% ↑

# テレビ事業 スポット収入

(単位：百万円)

	1Q	2Q	3Q	4Q	通 期
<b>18/3</b>	8,722	8,033	9,402	8,765	34,923
<b>19/3</b>	8,019	7,738	8,634	8,777	33,169
<b>20/3</b>	8,028	7,312	7,905	8,053	31,298



# テレビ事業 スポット収入（業種別20位まで）

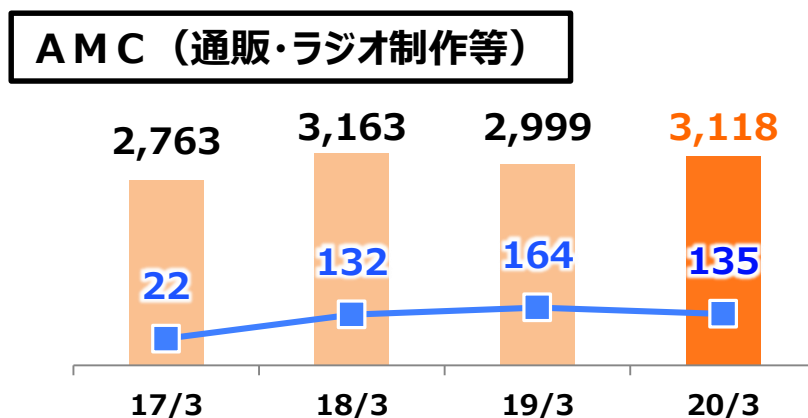
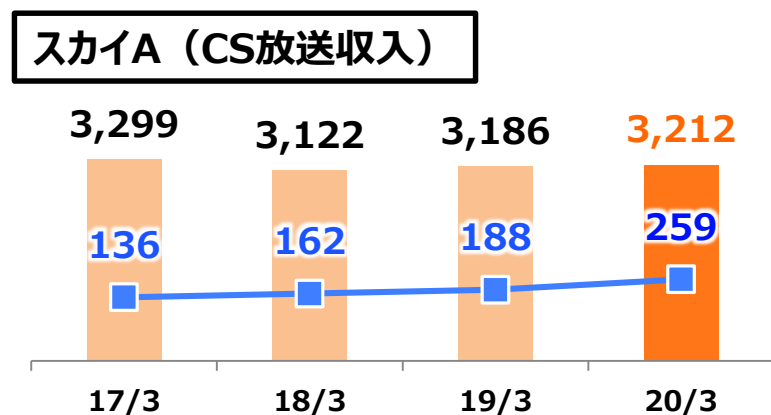
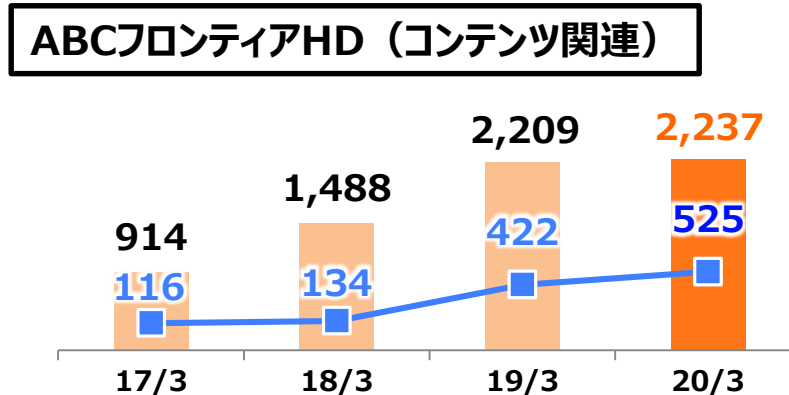
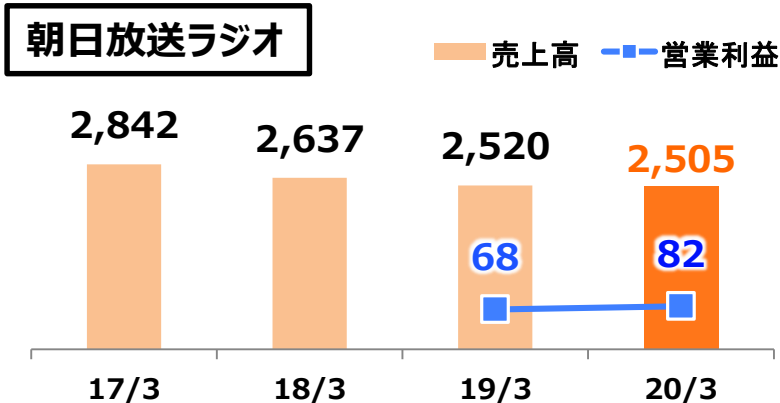
業種	19/3		20/3	
	増減率	構成率	増減率	構成率
交通・レジャー・外食・サービス	111.9%	11.2%	102.9%	12.2%
食品	96.4%	10.0%	94.3%	10.0%
情報・通信	82.3%	9.4%	81.3%	8.1%
薬品・医療用品	96.1%	7.9%	95.4%	7.9%
自動車	92.6%	7.9%	86.9%	7.3%
飲料・アルコール飲料	98.7%	7.1%	95.0%	7.1%
金融	109.1%	7.2%	86.3%	6.6%
家電・コンピュータ	87.9%	5.1%	110.9%	6.0%
化粧品・トイレタリー	85.3%	6.5%	78.8%	5.4%
趣味(映画・ゲーム・音楽など)	104.7%	6.0%	79.9%	5.1%
住宅・不動産・建設	86.9%	4.1%	89.9%	3.9%
官公庁・政治団体	98.1%	2.5%	122.8%	3.3%
出版	106.6%	2.6%	108.9%	3.0%
ファッション（衣料・貴金属など）	92.6%	2.8%	98.4%	3.0%
エネルギー・機械・素材	83.1%	2.3%	101.3%	2.5%
各種団体(法律事務所など)	87.6%	1.5%	126.1%	2.0%
運輸・事業・イベント	85.7%	1.3%	128.7%	1.8%
流通	80.3%	1.4%	89.1%	1.7%
通信販売	80.3%	1.4%	108.3%	1.6%
家庭用品	81.7%	1.4%	97.3%	1.4%
その他	73.0%	0.1%	300.6%	0.2%
合計		100.0%		100.0%

※増減率は前年同期比

# その他放送事業 朝日放送テレビ関連以外

※主たる売上が「グループ外収入」の会社

(単位：百万円)



(単位：百万円)

	17/3	18/3	19/3	20/3
4社 (個別) 営業利益合計 ※参考値	274	428	844	1,002

# 2019年4月～2020年3月 関西地区テレビ視聴率

(出典：ビデオリサーチ)

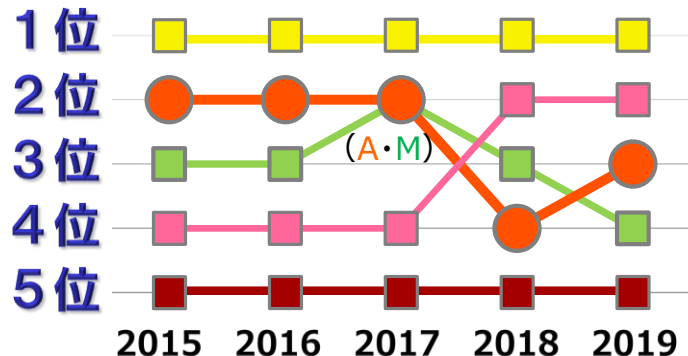
	全日 (6-24時)	ゴールデン (19-22時)	プライム (19-23時)	プライム2 (23-25時)
1	YTV 8.0%	YTV 11.7%	<b>ABC</b> <b>11.5%(+0.2)</b>	YTV 7.6%
2	KTV 7.6%	<b>ABC</b> <b>10.9%(+0.1)</b>	YTV 11.4%	<b>ABC</b> <b>6.5%(-0.6)</b>
3	<b>ABC</b> <b>7.3%(±0)</b>	MBS・KTV・NHK 10.0%	MBS 10.1%	MBS 5.5%
4	MBS 6.9%	* * * * * *	KTV 9.8%	KTV 5.1%
5	NHK 5.8%	* * * * * *	NHK 8.7%	NHK 2.4%

■ABC (テレビ朝日系) ■MBS (TBS系) ■KTV (フジテレビ系) ■YTV (日本テレビ系) ■NHK

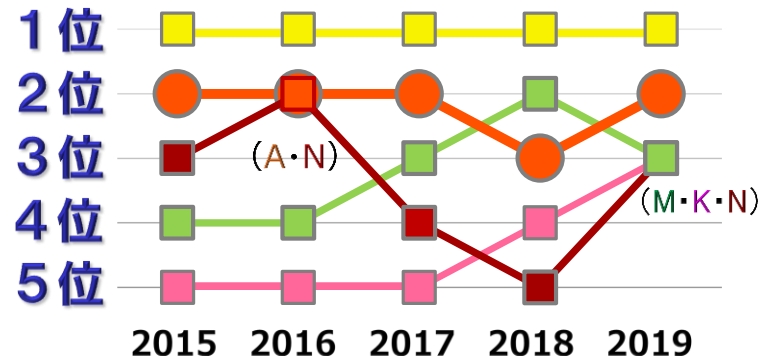
# 年度別 関西地区テレビ視聴率 順位

(出典：ビデオリサーチ)

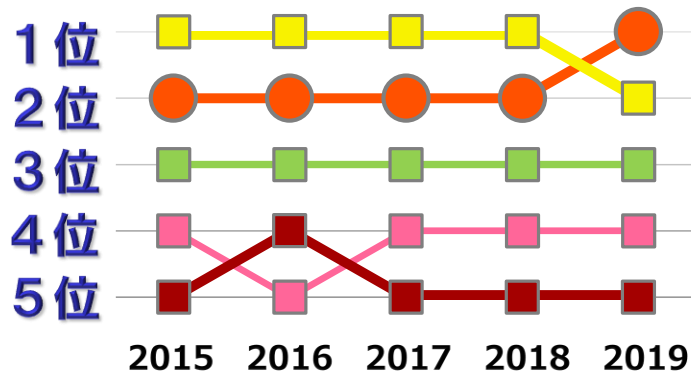
## 全日 (6時～24時)



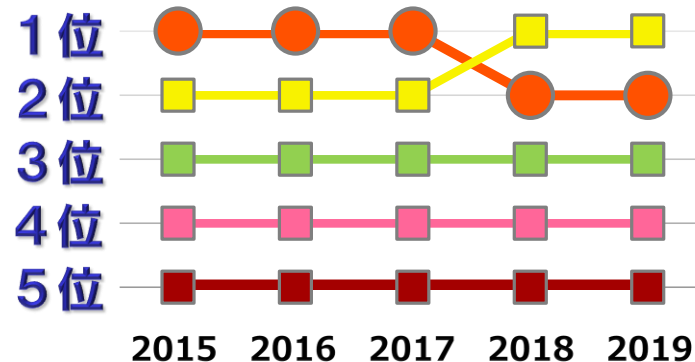
## ゴールデン (19時～22時)



## プライム (19時～23時)



## プライム2 (23時～翌日1時)



ABC (テレビ朝日系)

MBS (TBS系)

KTV (フジテレビ系)

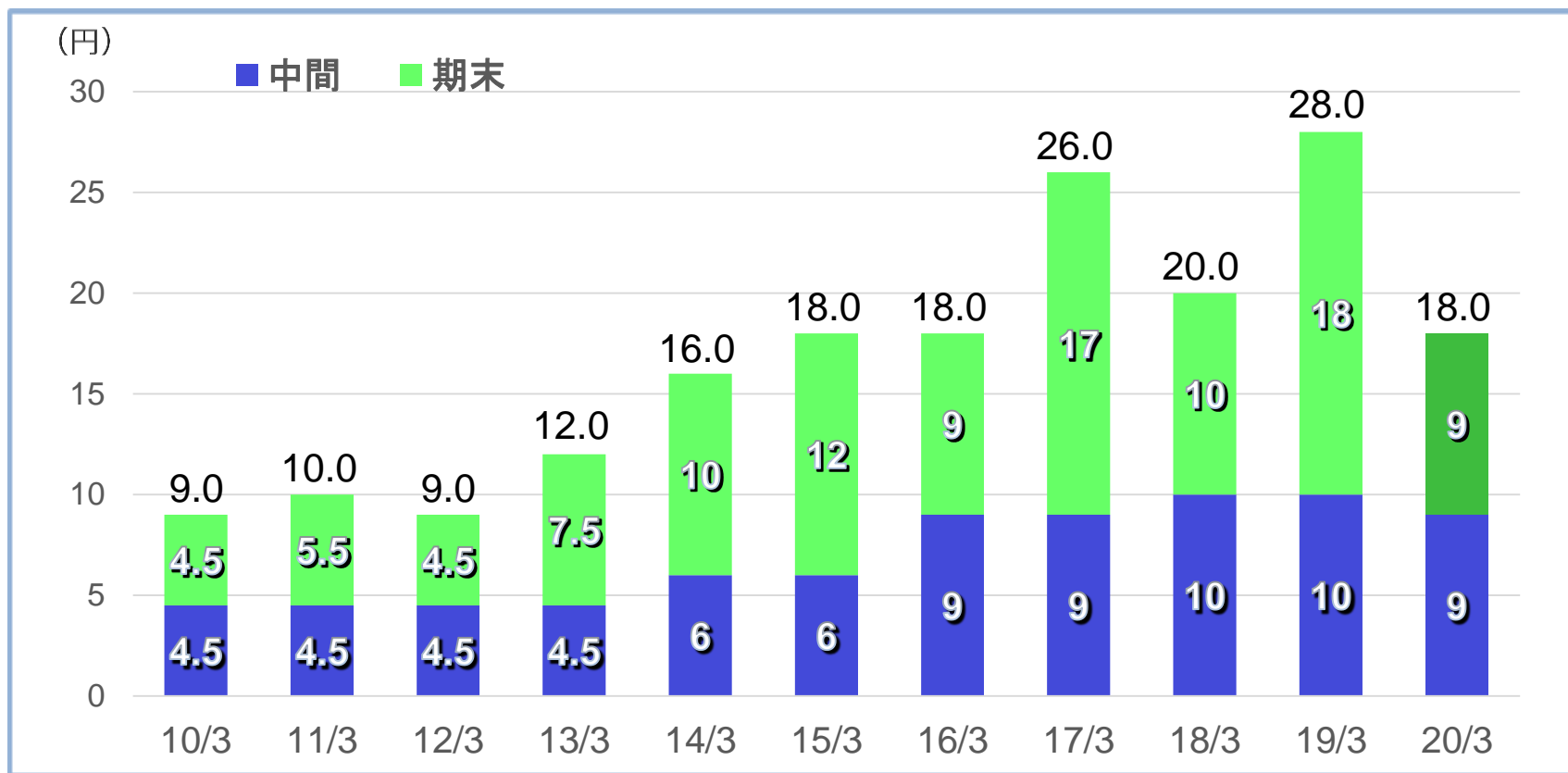
YTV (日本テレビ系)

NHK

# 設備投資額・減価償却費

	19/3		20/3	
	連結	朝日放送テレビ	連結	朝日放送テレビ
設備投資額	26億円	18億円	25億円	20億円
減価償却費	30億円	13億円	32億円	15億円

# 配当の推移



## <利益配分方針>

当社は、株主への利益還元を経営上の最重要課題のひとつであると位置づけている。利益の配分については、今後の成長のために適切な投資を行う一方、認定放送持株会社という責任ある立場を踏まえ財務体質の強化・維持を図るとともに、配当性向（連結）が30%を下回らず、かつ安定的、継続的な配当をめざすこととする。

# 2021年3月期 業績予想と足元の状況について

- 現在、新型コロナウイルス感染症収束の時期や収束後の経済活動の回復状態等が非常に見通しにくい状況にあります。このため、2021年3月期の連結業績予想につきましては、現時点で算定が困難と判断せざるを得ず、未定とさせていただきます。今後、適正かつ合理的な算定が可能となり次第、速やかに開示いたします。

▼新型コロナウイルスの影響を含めた足元の状況は下表の通り。

セグメント	事業会社	2020年4月の状況
放送事業	朝日放送テレビ	スポンサーの出稿手控えもあり、スポット収入が前年比30%弱の大幅減。放送については、報道は取材体制を強化、制作番組は再編集などで対応も、収録の見合わせ・スポーツ中継延期等で新規コンテンツが不足。各種イベントは3月上旬から開催中止。
	朝日放送ラジオ	
	スカイA (CS放送)	プロ野球などのスポーツ中継延期などによるコンテンツ不足で解約増。
	AMC (通販・ラジオ制作)	通販が需要増で前年比プラス。
	ABCリブラ (番組制作)	番組収録ストップも、総集編などの再編集作業を受注。
	ABCフロンティアHD (アニメ・海外・ライツビジネス)	訪日観光客減少の影響でホテル・航空機内上映が減少。海外へのセールスも停滞。
	デジアサ (デジタルコンテンツ制作)	感染症拡大前からリモートワーク推進中だったため作業への影響少。
	アイネックス (制作技術)	番組収録・スポーツ中継中止で、受注が大幅減。
	MASH (イベント企画・運営)	3月上旬以降、イベント中止が相次ぐ。レギュラー契約の施設運営業務委託などで利益を確保。
	DLE	外出自粛等で、営業・提案が難しく、新規受注が停滞。
	プロセンスタジオ (ポスプロ)	緊急事態宣言以降、ポスプロ・MA作業の受注が減少。
ハウジング事業	ABC開発	緊急事態宣言以降、住宅展示場は、全会場臨時休業。5月以降、三重県名張など休業要請が外れるエリアから、順次再開予定。HDCも全会場休業。入居施設の判断などにより順次再開予定。
ゴルフ事業	ABCゴルフ	条件付きで営業中も、予約キャンセルが相次ぎ、来場者数は45%減。

# 本資料に関するご注意

本資料には当社および当社の関係会社の計画、見通し、目標、予想数値等の、将来に関する記述が含まれている場合がございますが、これらは現時点で入手可能な情報に基づく判断及び仮定に基づいており、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、将来における実際の業績は、今後の事業環境、経済状況、金融市場の状況、その他の様々な要因により、上記将来に関する記述の内容と大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。

## 会社情報サイト



<https://corp.asahi.co.jp>

これまでの決算短信、有価証券報告書など  
当社ではIRサイトの充実にも努めております。ぜひご覧下さい。